

## J-CAT の現状と有料化について

各位、

J-CAT をご利用いただき、ありがとうございます。J-CAT はおかげ様で年間 2 万人に受験いただく大規模なテストに育てていただきました。この度、J-CAT の持続的・安定的な提供を行うために、有料化すること、またそのために抜本的にシステム・内容を刷新することになりましたので、ご報告いたします。

2005 年以來これまで、J-CAT および教育機関に対する成績通知等のサービスを無料で提供してきました。その経費の原資は、科研費、文科省拠点事業等の補助金に頼って参りました。しかし、今後も毎年のように予算獲得ができるという保証はありません。よって、現状では将来に亘って、J-CAT を提供できるかは不明です。ある時に、補助金がなくなり、突然テストの配信を停止するような事態は、ご利用者への影響が大きく、そのような事態は何としても避けなければなりません。

以上を鑑み、持続的・安定的な運用のためには、有料化して常に運転資金を確保する以外にないと判断するに至りました。そこで、以下の 2 点をご提案いたします。利用者の皆様におかれましては、ご理解を賜り、また、今後の対応に着手願いたく、よろしくお願い致します。現在、2020 年 3 月末までは運転資金の確保の目途がついていることから、現在のサービスはそれまで無料で継続し、有料化は 2020 年 4 月からスタートさせる計画です。ただし、2020 年 3 月以前に J-CAT が使えなくなる可能性もあります。この点につきましては以下の 1) をご覧ください。

1) 現在の J-CAT には Adobe 社の Flash 技術が使われています。Flash は 2020 年末に完全停止されることになりました。また、それに向けて、今後 Flash の段階的フェードアウトのために、徐々に使い勝手が悪くなることが予想されます。具体的にはブラウザで Flash がデフォルトでは動作しなくなり、利用者側でなんらかの操作をしないと動作しなくなるでしょう。その操作は段階的に難しくなります。教育機関のパソコン室などでは、管理者が全パソコンに対して操作する必要が生じます。よって、Flash は 2020 年末に完全停止する予定になっていますが、それ以前に管理者の対応いかんでは、実質的に使えなくなる可能性があります。

対策としては、現行 J-CAT を Flash から HTML5 に変換することが考えられます。それにより、Flash 停止後もこれまで通り使用できます。ただし、変換作業には約 500 万円の費用が必要になります。これには受益者負担を提案致します。利用を継続希望される機関で費用を分担していただき、その上で、ご負担いただいた機関からキャンパスバージョンという、ID・パスワードの発行機能と成績管理ができる準管理者画面へのアクセスができるようにします。継続利用を希望され、費用を分担していただける機関におかれましては、末尾の連絡先にご連絡ください。

2) 2020 年 4 月より有料の J-CAT を開始します。新 J-CAT ではテストの構成、内容、システムを刷新します。また、安全性を確保するため、インターネットではな

く、タブレットを使用します。ご指定の期日、場所に受験者人数分のタブレットを当方事務局が持ち込みます。試験監督のもと、テストを厳格に管理します。成績はテスト終了後2, 3日中にとりまとめて通知します。受験料は受験者1名ごとに3000円（税別）を予定しています。

以上を踏まえ、今後2年の間に、各利用者におかれましては、対応のほど、よろしくお願い致します。これまで無料での提供にこだわって頑張って参りました。しかし、受験者数の増大に伴い、頑張りだけでは責任がとれないという認識に至りました。また、昨今の社会の動向を伺うに、よりよい日本語の試験の必要性も感じています。J-CATも検定試験、認定試験を目指します。そして、良質な日本語テストを今以上に広範に提供していく所存です。皆様のご理解とご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願い致します。

連絡先：J-CAT 代表 今井新悟 imai.shingo[at mark]gmail.com